

株式会社島津製作所(東証プライム市場：証券コード7701)

2026年3月期 通期決算説明会

代表取締役社長 CEO 山本靖則



2026年5月13日

ハイライト

通期業績 増収増益

- **売上高は6期連続で過去最高。営業利益・経常利益・当期純利益も2期ぶり過去最高**
【売上高】 **5,607億円 (前期比+4%)** 【営業利益】 **737億円 (前期比+3%)**

セグメント別

- **計測**：増収増益 / 売上高は6期連続で過去最高。費用増も、増収により増益
- **医用**：増収増益 / 増収と採算性改善で増益
- **産業**：減収増益 / 営業利益は3期連続で過去最高
- **航空**：増収増益 / 売上高・営業利益とも過去最高を更新

地域別

- **日本**：増収 / 計測の*重点機種や航空の防衛関連などが堅調に推移
- **海外**：増収 / 欧州、その他のアジア地域が貢献、これら地域の売上構成比が拡大
- 海外売上高比率は56.7%と持続的に拡大

*重点機種：液体クロマトグラフ、質量分析システム、ガスクロマトグラフ

2027年3月期 業績予想

- 中東情勢の不透明さはあるものの**売上高、営業利益**いずれも**過去最高**を目指す
- **TESCAN社業績は、クロージング前のため織り込まず**
- 【売上高】 **5,750億円(前期比+3%)** : 動きのある市場でお客様と共に成長を
- 【営業利益】 **760億円(前期比+3%)** : 価値訴求と経費抑制に取り組む

01 決算概要

連結 / 業績

	単位：億円	通期		前期比	
		FY2024	FY2025	増減額	増減率
業績	売上高	5,390	5,607	+217	+4%
	営業利益	717	737	+20	+3%
	営業利益率	13.3%	13.1%	▲0.2pt	
	経常利益	720	828	+107	+15%
	親会社株主に帰属する当期純利益	538	605	+67	+13%
	ROE	10.9%	11.4%	+0.5pt	
	ROIC	10.0%	9.6%	▲0.4pt	
為替	平均為替レート：米ドル(円)	152.63	150.81	▲1.82	▲1%
	ユーロ(円)	163.78	174.83	+11.05	+7%
	研究開発費	289	291	+2	
	設備投資額	229	221	▲8	
	減価償却費	199	204	+5	

為替影響額

売上高 : 2億円
営業利益 : ▲2億円



為替差損益
+92億円

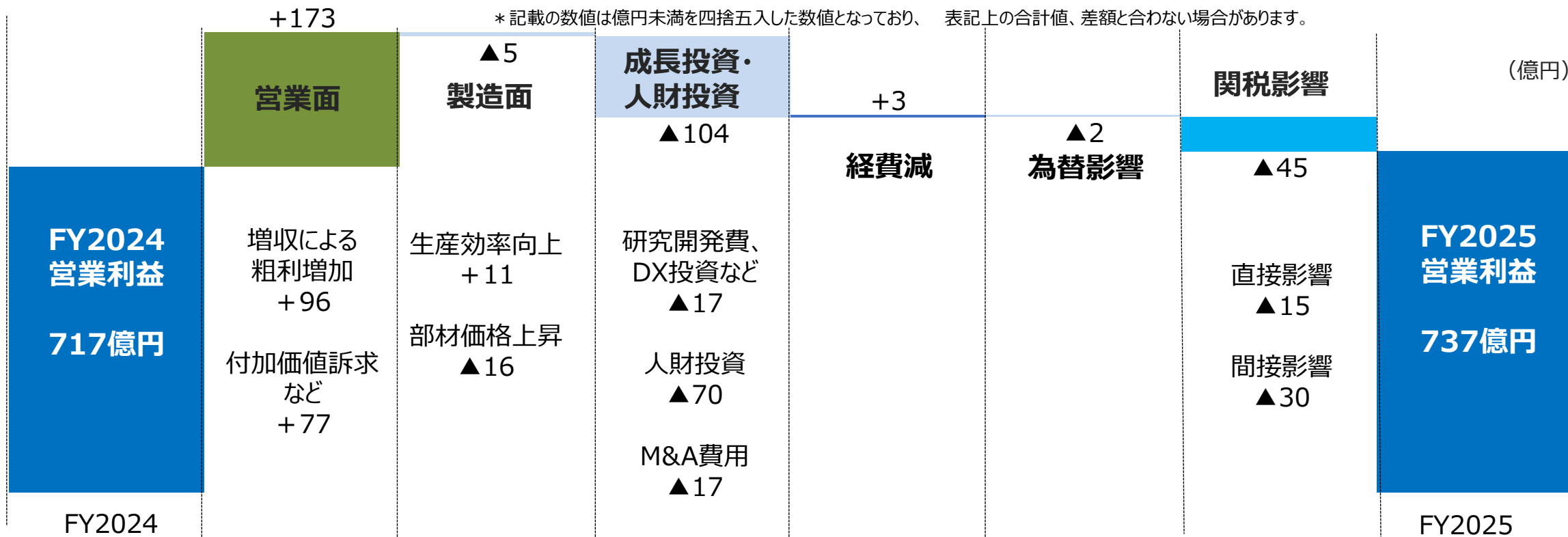
* 記載の数値は億円未満を四捨五入した数値となっており、表記上の合計値、差額と合わない場合があります。

連結 / 営業利益増減要因

【営業利益】 737億円(前期比+3%) **【営業利益率】 13.1% (対前期▲0.2pt)**

■ 営業面	: 増収や付加価値訴求により増加	+173億円
■ 製造面	: 生産効率向上で+11億円、部材価格上昇で▲16億円、全体で減少	▲5億円
■ 成長投資	: 研究開発・DX投資17億円、人財投資70億円増、M&A関連費17億円	▲104億円
■ 関税影響	: 関税▲15億円増加、市況悪化による減収で減益▲30億円	▲45億円

* 記載の数値は億円未満を四捨五入した数値となっており、表記上の合計値、差額と合わない場合があります。

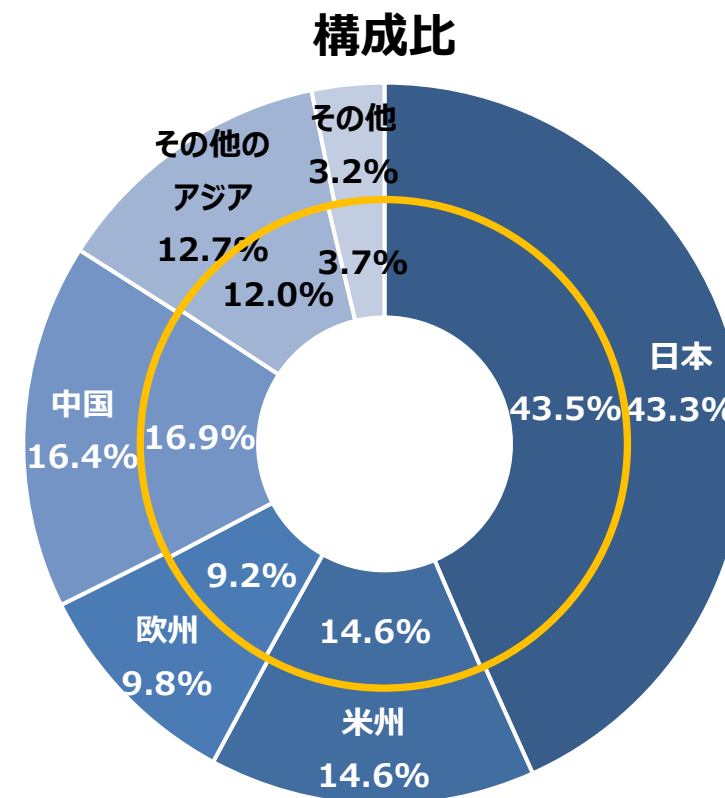


連結 / 地域別売上高

■ 日本、その他アジア地域、欧州が牽引し増収に。中国は横ばいで構成比16.4%に減少

- 日本 : 計測の重点機種が医薬品や化学分野で、医用のX線撮影システムと航空も増加
- 海外 : 米州、欧州、インドで液体クロマトグラフ、質量分析システムが増加
中国、台湾、韓国で半導体向けTMPが増加

単位 億円	売上高				構成比		
	FY2024	FY2025	前期比 増減額	前期比 増減率	FY2024	FY2025	前期比 増減
日本	2,345	2,425	+80	+3%	43.5%	43.3%	▲0.3pt
海外	3,044	3,181	+137	+5%	56.5%	56.7%	+0.3pt
米州	785	818	+33	+4%	14.6%	14.6%	+0.0pt
欧州	495	548	+53	+11%	9.2%	9.8%	+0.6pt
中国	913	917	+4	+0%	16.9%	16.4%	▲0.6pt
その他のアジア	649	714	+65	+10%	12.0%	12.7%	+0.7pt
その他	200	182	▲18	▲9%	3.7%	3.2%	▲0.5pt



※円グラフ:外側 FY2025実績
内側 FY2024実績

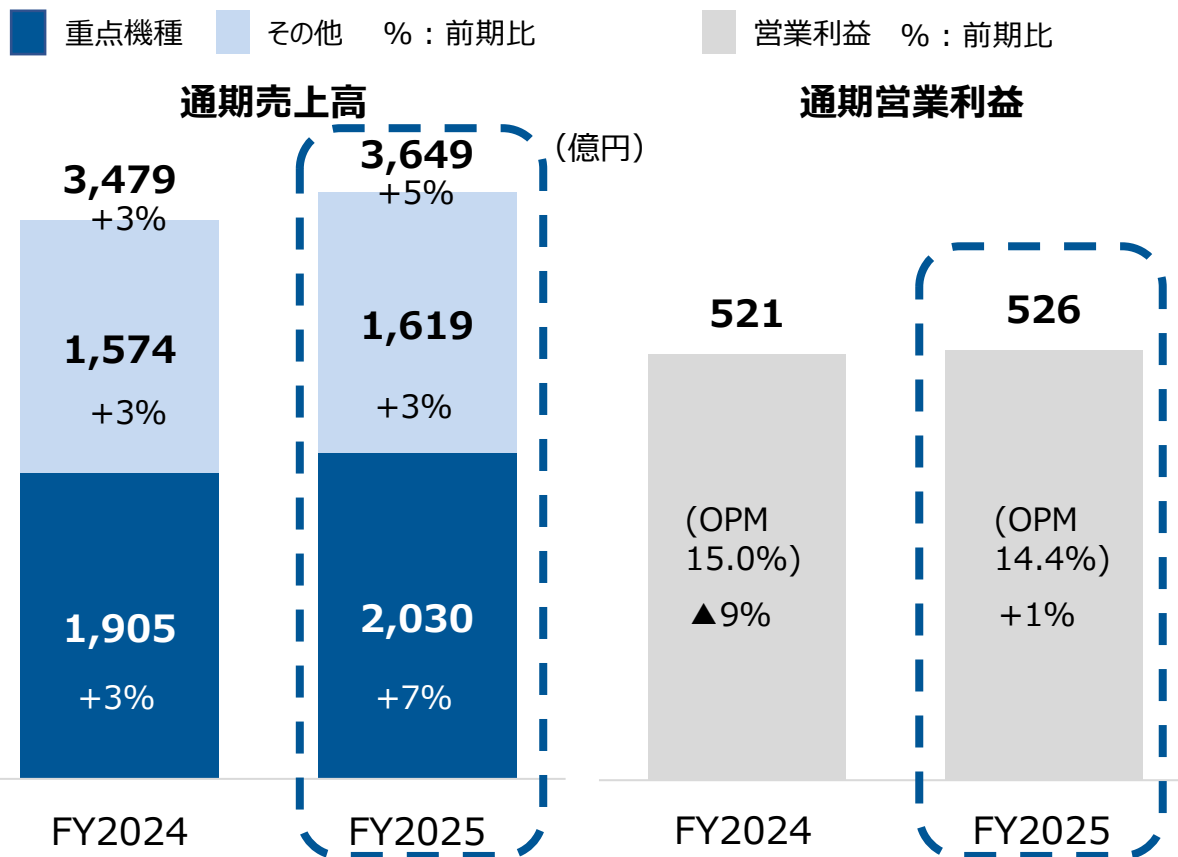
* 本スライド記載の数値のみ、決算短信に合わせ億円未満を切り捨てしております。

計測機器事業

【増収増益】 売上高は**6期連続で過去最高**を更新

■ 売上高：重点機種、その他機種ともに過去最高を更新

■ 営業利益：M&A関連費用、研究開発費などが増加したが、増収効果により増益。営業利益率は低下



重点機種 売上高2,030億円

- 新製品効果もあり、前期比+7%と好調に推移
- LCは日本の医薬品、北米の臨床検査向けに増加
- MSは欧州のPFAS分析、北米の臨床検査向けに増加
- GCは日本や欧州の医薬品、化学品向けに増加

※重点機種：液体クロマトグラフ（LC）、質量分析システム（MS）、ガスクロマトグラフ（GC）

その他 売上高1,619億円

- 半導体市場や研究機関向けにX線光電子分析装置(XPS)が好調

リカーリング 売上高 1,425億円 (前期比+7%)

- リカーリング売上高比率 39% (対前期+1pt)
- 部品・サービスとも各地域で増加

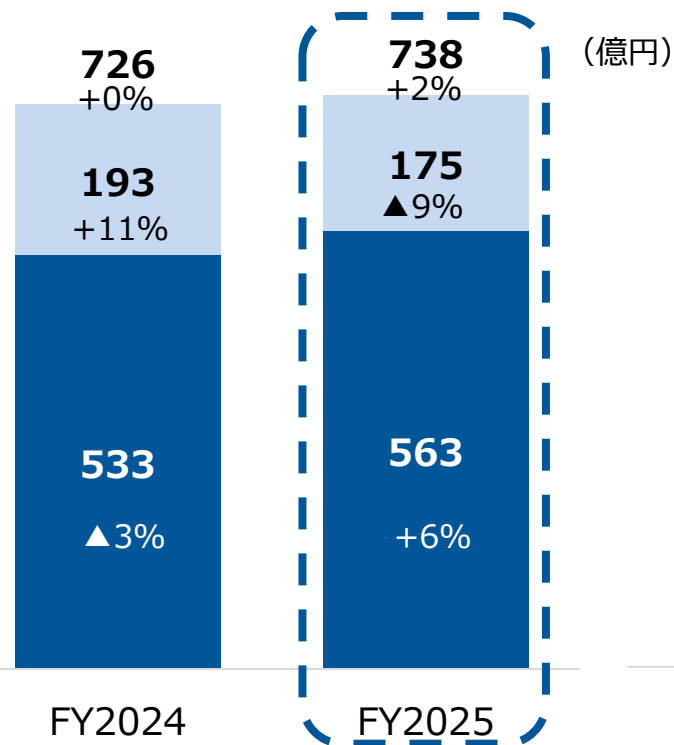
医用機器事業

【増収増益】 売上高は**X線機種**を中心に増加

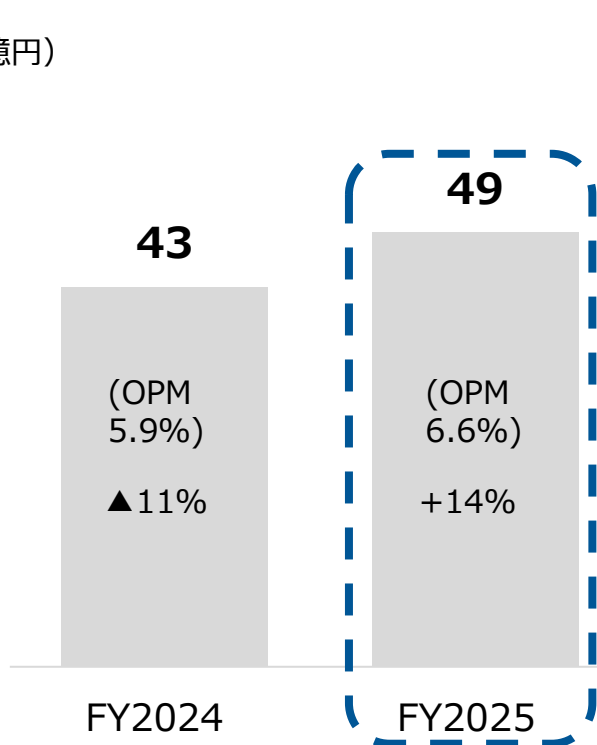
- 売上高：日本・欧州では医療費抑制の影響もあり低調だったが、東南アジアでX線機種が大きく増加
- 営業利益：新製品効果による増収、プロダクトミックス良化、リカーリング強化により増益

■ X線機種 ■ その他 %：前期比 ■ 営業利益 %：前期比

通期売上高



通期営業利益



X線機種

売上高 563億円

- 一般撮影、X線TV：新製品効果で日本で増加し、大口案件を獲得し東南アジアでも増加
- 血管撮影システム：東南アジア・インドで増加したが、日本で減少

その他

売上高 175億円

- 前年の大口案件の反動で放射線治療支援システムが減少

リカーリング

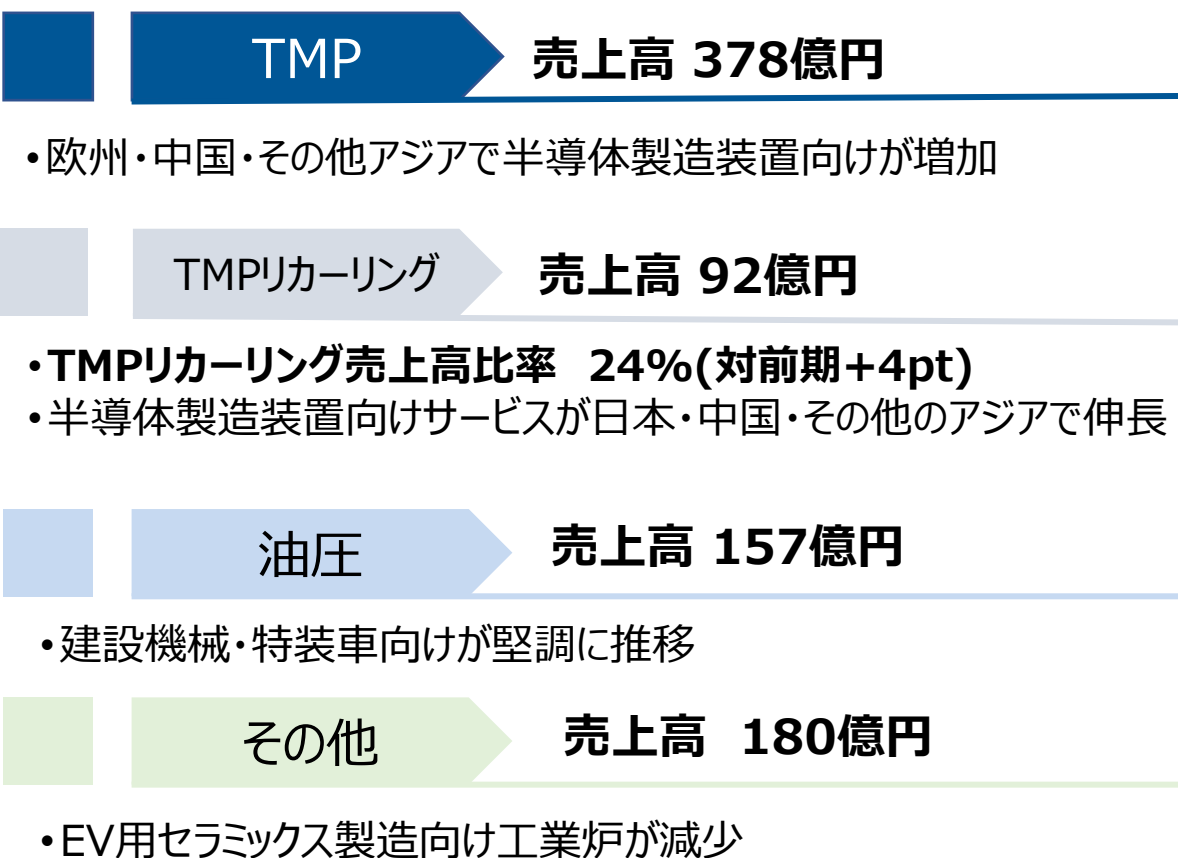
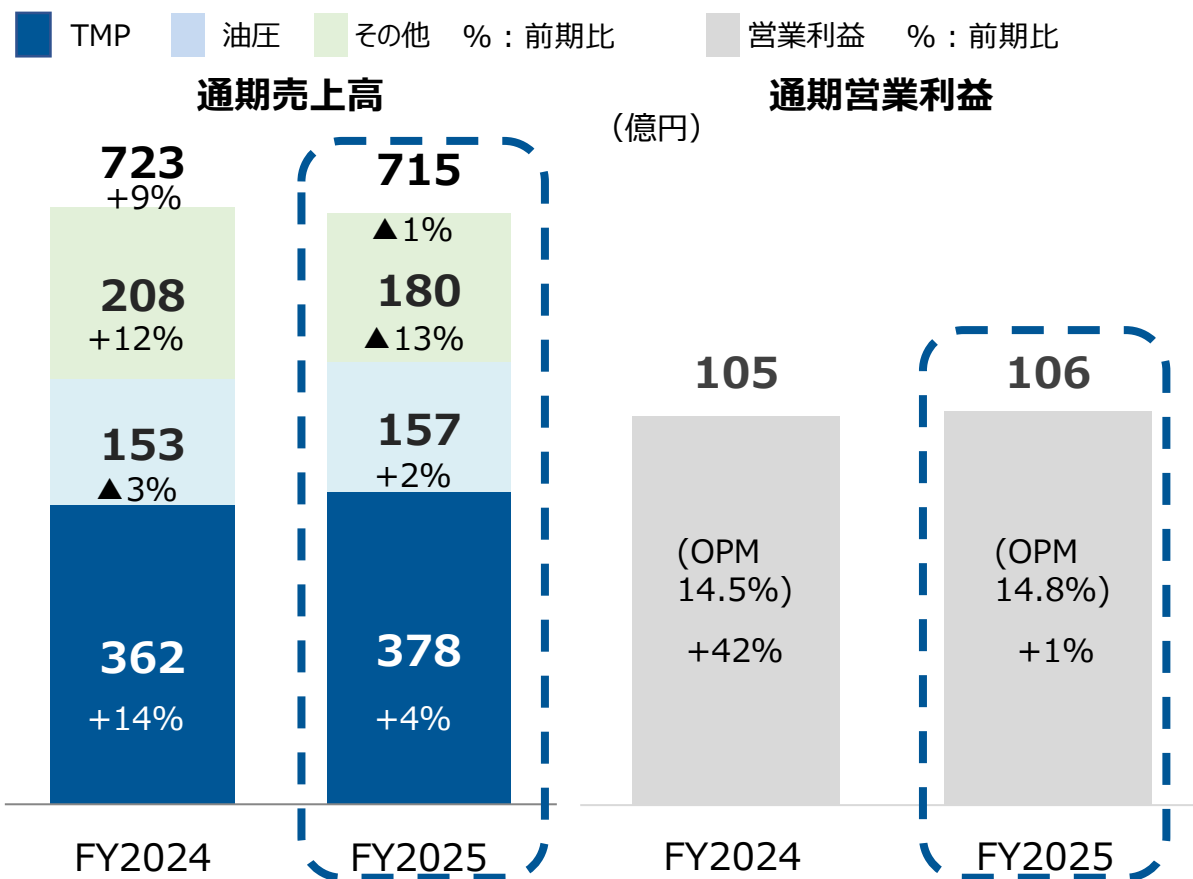
売上高 279億円(前期比+3%)

- リカーリング売上高比率 38% (対前期+1pt)
- 欧州・東南アジアで、保守契約を拡大し部品・サービスが増加

産業機器事業

【減収増益】 営業利益は過去最高、TMPのリカーリング売上高比率は24%と対前期+4pt伸長

- 売上高：TMPが好調、油圧機器も増加。一方で、その他の工業炉が大きく減少
- 営業利益：減収による利益減を、TMPのリカーリング事業拡大による粗利率改善により補って増益



航空機器事業

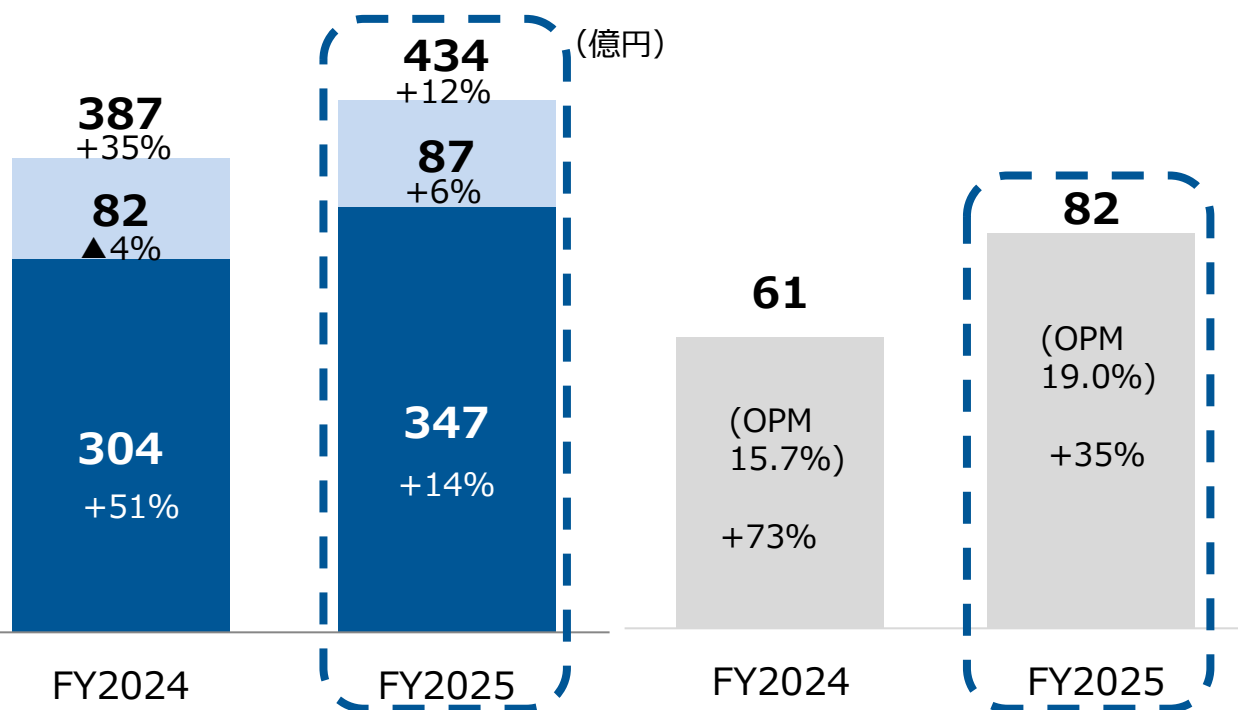
【増収増益】 売上高は2期連続、営業利益は3期連続で過去最高を更新

- 売上高：防衛市場向け装備品が大幅に増加
民間航空機向けも搭載品・補用品とも需要が拡大し増加
- 営業利益：増収効果に加え、粗利率改善により大幅増益

■ 防衛 ■ 民航 %：前期比 ■ 営業利益 %：前期比

通期売上高

通期営業利益



防衛

売上高 347億円

- 政府の防衛力強化方針により、航空機装備品が大きく増加

民航

売上高 87億円

- 民間航空機向けの搭載品や、航空会社向けの補用部品が需要拡大により好調に推移

02 2026年度通期業績予想

2026年度通期業績予想

- 中東情勢悪化影響と成長投資増を増収・価値訴求で跳ね返して増収増益を見込む
- TESCOAN社業績は、クロージング前のため織り込まず
- 売上高 5,750億円（対前期+143億円）為替▲20億円、中東影響 ▲100億円を織り込む
- 営業利益 760億円（対前期+ 23億円）為替▲7億円、中東影響 ▲40億円を織り込む

売上高	5,750 億円	対前期	+143 億円	+3 %
営業利益	760 億円	対前期	+23 億円	+3 %
経常利益	750 億円	対前期	▲78 億円	▲9 %
当期純利益	550 億円	対前期	▲55 億円	▲9 %

通期想定為替レート

米ドル：150円
ユーロ：175円

研究開発費

対前期

305 億円 **+14** 億円

設備投資

対前期

250 億円 **+29** 億円

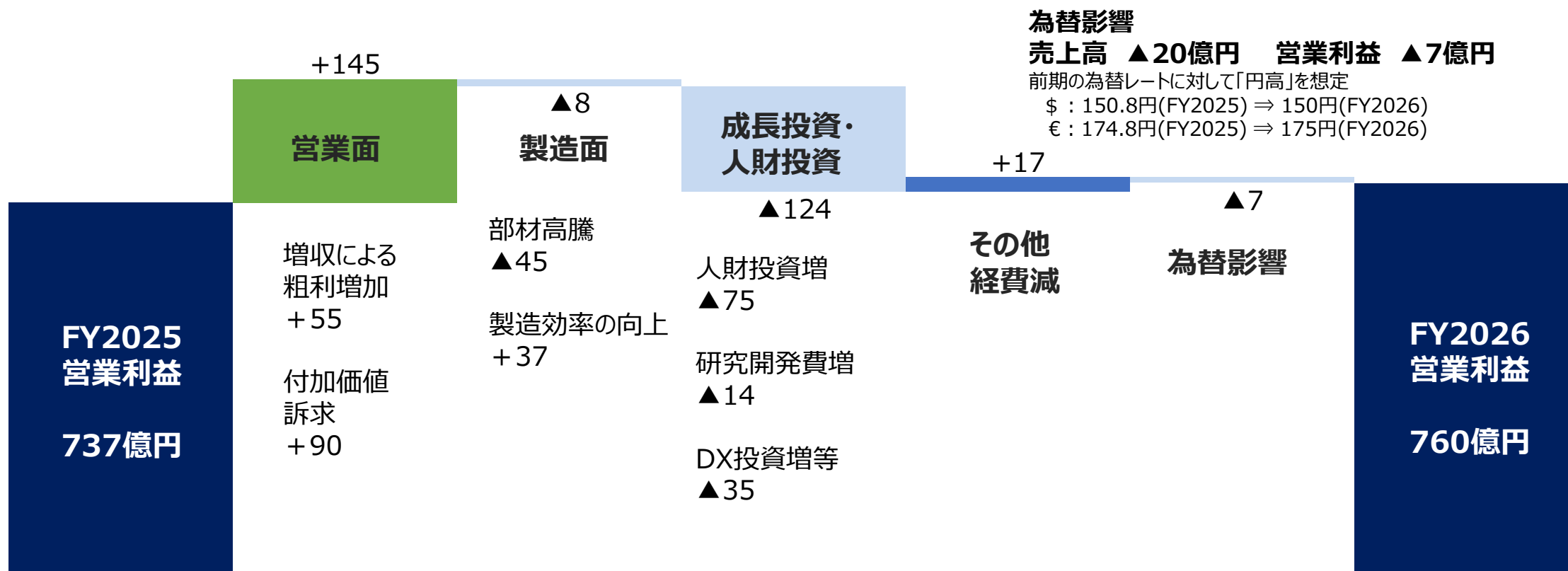
減価償却

対前期

200 億円 **▲4** 億円

2026年度通期営業利益予想

- 為替変動および中東情勢の悪化影響を織り込み760億円を予想
- 営業面では、増収に伴う増益と付加価値訴求により利益増の見込み
- 製造面では、製造効率向上を部材価格高騰が上回り、利益減の見込み
- 研究開発費・DX投資などの成長投資と人財投資が増加する見込み



2026年度通期セグメント別業績予想

- 計測：中東情勢悪化（売上▲60億円、利益▲25億円）も、新製品拡販と好調市場深耕、リカーリング拡大で増収増益
- 医用：特長ある製品の拡販、リカーリング事業の強化・拡大により営業利益率向上を目指す
- 産業：中東情勢悪化（売上▲35億円、利益▲15億円）も、半導体向けTMPの拡販とリカーリング強化に努める
- 航空：サプライチェーン上の課題解決により売上高増加も、利益は前年の為替精算の反動減で減少

単位: 億円	売上高				営業利益				営業利益率		
	FY2025	FY2026 予想	前期比		FY2025	FY2026 予想	前期比		FY2025	FY2026 予想	前期比 増減
			増減額	増減率			増減額	増減率			
計測機器	3,649	3,850	+201	+6%	526	615	+89	+17%	14.4%	16.0%	+1.6pt
医用機器	738	700	▲38	▲5%	49	55	+6	+13%	6.6%	7.9%	+1.3pt
産業機器	715	705	▲10	▲1%	106	100	▲6	▲6%	14.8%	14.2%	▲0.6pt
航空機器	434	440	+6	+1%	82	50	▲32	▲39%	19.0%	11.4%	▲7.6pt
その他	71	55	▲16	▲23%	12	15	+3	+27%	12.4%	20.5%	+8.1pt
調整額	-	-	-	-	▲37	▲75	▲38	-	-	-	-
合計	5,607	5,750	+143	+3%	737	760	+23	+3%	13.1%	13.2%	+0.1pt

03 業績予想達成に向けて

市場環境 地域別/事業別/業界別①

各地域で、動きのある市場でお客様と共に成長。特に、新製品を核にトータルソリューションを提案

地域	動きのある市場
<p>日本 YoY + 1 ~ 3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 総括：計測機器需要は底堅く、半導体市場も好況。一方で医用機器や産業機器の半導体以外の市況は低調 ■ 計測： <ul style="list-style-type: none"> ・補正予算で官公庁/大学市場が動く ・ジェネリック医薬市場の投資も活発化 ・半導体関連市場で投資が継続 ■ 医用： <ul style="list-style-type: none"> ・病院経営は厳しいものの、効率化・働き方改革へは投資増 ■ 産業： <ul style="list-style-type: none"> ・半導体製造装置の大幅増産を期待
<p>北米 YoY + 4 ~ 6%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 総括：官公庁/大学市場は引き続き停滞が見込まれる。民需は設備投資・開発投資に積極的な市場も見られる ■ 計測： <ul style="list-style-type: none"> ・医薬市場は徐々に回復 ・臨床市場は効率化投資が継続 ・電池関連は開発・製造投資継続 ■ 産業： <ul style="list-style-type: none"> ・半導体製造装置の大幅増産を期待
<p>欧州 YoY + 4 ~ 6%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 総括：臨床市場を中心に計測機器需要は底堅い。半導体関連も好調 ■ 計測： <ul style="list-style-type: none"> ・官公庁/大学市場は徐々に回復 ・臨床市場が引き続き好調 ■ 産業： <ul style="list-style-type: none"> ・半導体製造装置の大幅増産を期待

* 記載の伸び率は、連結の売上高対前年伸び率見込み（為替除く）

市場環境 地域別/事業別/業界別②

各地域で、動きのある市場でお客様と共に成長。特に、新製品を核にトータルソリューションを提案

地域	動きのある市場
中国 YoY+ 1~3%	<ul style="list-style-type: none"> ■ 総括：官公庁/大学市場などの官需は堅調。民需は一部市場を除いて引き続き停滞。 ■ 計測： <ul style="list-style-type: none"> ・設備更新PJで官公庁/大学市場が好調 ・バイオ医薬関連CXO市場の投資が継続 ■ 医用： <ul style="list-style-type: none"> ・設備更新PJでのX線TV需要を期待 ■ 産業： <ul style="list-style-type: none"> ・半導体製造装置市場は好調を維持 ・フォークリフトの輸出市場が好調維持
その他のアジア YoY+ 4~6%	<ul style="list-style-type: none"> ■ 総括：一部の国を除いて東南アジア地域の市況は堅調と見込む ■ 計測： <ul style="list-style-type: none"> ・官公庁/大学市場は底堅く推移 ・医薬市場の投資も活発 ・半導体市場で投資継続 ■ 医用： <ul style="list-style-type: none"> ・病院での投資継続、保守サービス事業も増加 ■ 産業： <ul style="list-style-type: none"> ・台湾・韓国の半導体関連市場は好調を維持
(内インド) YoY+ 7~9%	<ul style="list-style-type: none"> ■ 総括：好況が続くと見込む ■ 計測： <ul style="list-style-type: none"> ・"Make in India" への対応を推進 ・海外企業の投資も続き、高い成長率を見込む ■ 医用： <ul style="list-style-type: none"> ・血管撮影システム他需要継続、サービスも期待 ■ 産業： <ul style="list-style-type: none"> ・半導体製造装置市場が動き出すことを期待 ・医薬品・電池・自動車・半導体など生産拡大
航空	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本： <ul style="list-style-type: none"> ・防衛・民間航空機とも需要継続 ■ 北米： <ul style="list-style-type: none"> ・民間航空機の製造、補用品の需要継続

* 記載の伸び率は、連結の売上高対前年伸び率見込み（為替除く）

・ヘルスケア領域：ライフサイエンス市場

I ベストセラーモデルの後継機



一体型液体クロマトグラフ
i-Series LC-2070/2080

品質管理のお客様に
新たなワークフローを

“Analytical Intelligence”

- ・熟練技術者のように働き、
- ・装置とデータの良否を自動判定し、
- ・最適状態での分析をお届けする

“Sustainability in Separation”



Smart ECO Lab

- ・95%以上の消費電力削減
- ・ランニングコストの低減
- ・サステナブル素材の採用
- ・梱包材の最適化

4万台以上の納入品の
更新需要と新規需要に

II フラッグシップモデル



超高速液体クロマトグラフ
Nexera X4

研究開発現場に
微量・高速・高分離を

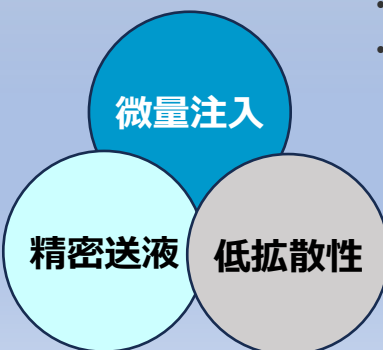
新たな分析体験

“Ultra-FAST Analysis”

- ・低拡散でシャープなピーク
- ・分析時間は従来比1/3に

“Ultra-Low Solvent Consumption”

- ・微量サンプル対応
- ・溶媒使用量 1/9に



研究開発の
最適パートナー

III AIで届ける、あなただけの培地



NEW AIカスタム培地開発サービス
MediTune

培地開発のワークフローを変革

“抗体医薬品や遺伝子治療薬の
原薬製造用カスタム培地を提供”

- ・高性能AIが培地組成を最適化
→ 試行回数を半減
- ・GMP準拠のカスタム培地を提供

IV 分析天びんのパイオニアとして

NEW



分析天びん
「AP W-AD ex」他8機種

最小計量値13mg

“薬局方に基づくクラス最高精度”と
“安心安全なワークフロー”の実現

- ・スマートオートドア™ 機能搭載
→ 両手を使って持ったまま作業
- ・タッチレスセンサ搭載
→ 装置に触れずに計量作業

・ヘルスケア領域：メドテック市場・分子診断

I 臨床検査専用 LCMSシステム

NEW
高速液体クロマトグラフィ分析装置
Nexera CL LCMS システム

臨床検査分野に
新たなワークフローを

“信頼性、再現性の高い検査”

- ・多成分同時分析による高速検査
- ・抗体間の交差反応のない安心・精密な検査

II 臨床検査装置 サブスクリプション

NEW
高速液体クロマトグラフィ分析装置
Nexera CL LCMS システム

日本の臨床検査市場に
新たな可能性を

“信頼性、再現性の高い検査”

- ・世界の先端検査を日本に
- ・精密分析を低い初期コストで
- ・医療機関での研究支援も

III 北米R&Dセンター開発品を世界に

NEW
多検体処理用途LCMSシステム
Nexera QX

分析ラボに
新たなワークフローを

“ラボの生産性を最大化する
革新ソリューション”

- ・最優秀分離科学イノベーション賞受賞
- 質量分析計の稼働効率を大幅に向上
生産性・自動化・運用の強靭性に貢献



IV LCMS用免疫抑制剤分析キット

NEW
DOSIMMUNE

患者さんの
命と健康に貢献

“信頼性、再現性の高い検査”

- ・当社LCMS + 自動化ユニット用検査試薬
- ・内部標準を含め必要品が揃った分析キット
- ・欧州IVDRクラスC認証取得品
- ・迅速に正確な結果を、安定供給

V 臨床検査用全自動前処理装置

I 臨床検査用 LCMS II サブスクリプション 検体前処理装置 CLAM-2030CL



臨床検査ワークフローのソリューション

VI 感染症対策分野での戦略製品

NEW
MALDI-TOFMS用
微生物同定ソフトウェア
MicrobialTrack

微生物の検査・研究に
新たなソリューションを

“微生物同定に革新を”

- ・微生物8万5千種を網羅する
業界最大のデータベース

展開する主な新製品とソリューション

・ヘルスケア領域：メドテック市場・画像診断

I 回診用X線撮影装置のフラッグシップモデル

回診用X線撮影装置

MobileDaRt Evolution MX9 Version

撮影業務フローの高度化へ



“イメージングトランスフォーメーション”で
医療者と患者のウェルビーイングに貢献

- 手元モニターで操作が簡単・安心 → セカンドモニタ搭載
- 位置決めカメラで撮影が簡単・安心 → VISION SUPPORT

II 光学カメラ搭載X線一般撮影システム

X線一般撮影システム

RADspeed Pro SR5 Version

撮影業務フローを改善
効率化と安心に貢献

“イメージングトランスフォーメーション”で
医療者と患者のウェルビーイングに貢献

- カメラ画像で正確に簡単撮影 → VISION SUPPORT
- 手元で撮影位置を簡単設定 → オートポジショニング



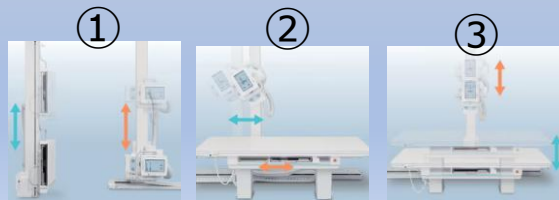
III オートトラッキング機能付X線撮影システム



床上走行式X線一般撮影システム
RADspeed Pro XF type

効率化と安心に貢献

“オートトラッキング機能で簡単・安心操作を”



- ① X線発生器と立位撮影台の高さが連動
- ② X線発生器と臥位撮影台の位置が連動
- ③ X線発生器と撮影台の高さが連動

IV 多目的治療対応 血管撮影システム

血管撮影システム

Trinias Series with SCORE Opera

検査・治療の高度化と
医療者の負担軽減へ

“ストレスフリーの治療ワークフローを目指して”

- 治療の際に患者やモニタから視線を外さない操作環境
→ SMART Voice(音声操作機能)
- 常に最先端に持続的に進化するシステム
→ SCORE Link機能



展開する主な新製品とソリューション

・グリーン・マテリアル領域：環境分析・GX市場

環境分析

I PFAS分析市場への戦略製品

高速液体クロマトグラフ質量分析システム
LCMS-8065XE



NEW

超高速・高安定分析で
生産性向上に貢献

“StreamFocus”

- ・高効率でイオンを取り込み 高感度に
- “パフォーマンス・コンシエルジュ”
- ・装置の状態を自動診断
- ・「エコロジーモード」で消費電力3割削減

II 法規制に基づく水質検査装置

イオンクロマトグラフ
Nexera IC



NEW

試料調製、分析、データ解析
までのワークフローを効率化

“Streamlined Automation”

- ・独自の自動化機能
- ・試料調製から解析まで全ワークフローを効率化
- ・新AI機能により、ダウンタイムを減少

III マイクロプラスチック向け 粒子解析システム



NEW

マイクロプラスチック研究の進化に貢献

“世界初の質量・体積の自動解析機能”

- ・個数・面積・体積・質量・成分を短時間で算出
- ・高速マッピング
- ・スペクトルアドバイザー機能

* 技術指導：愛媛大学片岡智哉准教授

GX市場

I 世界最高感度の標準モデル

ガスクロマトグラフ
Nexis GC-2060



NEW

高速処理に加え、高感度・
安定性でワークフローを変革

“開発70年の集大成モデル”

- ・5つの注入モードで効率向上、待ち時間も1/8に
- ・5つの検出器動作モードが、ラボ環境に適合
- ・最高感度の検出器搭載で微量分析を高速分析
- ・自動エコ運転で省エネ(電気・ガス削減)を提案

II 微量ガス分析の最新鋭機

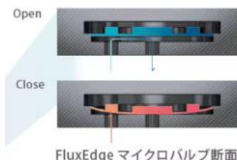
新型ガスクロマトグラフ
FluxEdge GC Systems

NEW

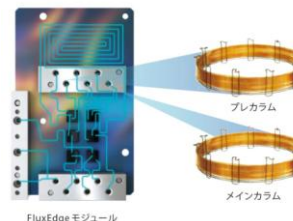
脱炭素研究の進化を後押し

“微細化と不活性化技術で
GC用バルブを革新”

- ・数mlの微量サンプル分析
- ・従来比約1/3の短時間分析
- ・高再現性、低キャリアオーバー



FluxEdge マイクロバルブ断面図



FluxEdge モジュール

III EV用部品・電池材・リサイクル樹脂の スタンダードモデル

精密万能試験機
オートグラフ AGS-Vシリーズ



NEW

「高い試験効率」「優れた操作性」
「最高の安全性」をお客様に

“100年を超える技術を注ぎ込んだ
インテリジェント制御と音声操作”

- ・従来比5倍の高分解能測定
- ・従来比2倍の測定範囲
- ・接触・衝突検知時停止機能

展開する主な新製品とソリューション

・グリーン・マテリアル領域：電池市場

I X線装置のパイオニアとして



NEW

産業用マイクフォーカスX線CTシステム
inspeXio 7000

低密度材料の画像解析も可能に

“新開発の発生源で軟X線成分を増加”

“超高速演算システムHPCinspeXio”

- 前モデル50倍の高速演算
- どこでも3次元拡大再構成機能
- Φ400mm高さ300mm 重さ20kgまで対応

IV 電池材料の表面観察



NEW

走査電子顕微鏡
SUPERSCANシリーズ
* チェコTESCAN社との共同ブランド

圧倒的な使いやすさで観察・
分析のワークフローを革新

“表面の微細構造観察に”

- 低加速でビーム広がりを抑えた独自光学系
- 独自技術で光軸・画像を自動調整
- 低真空でもクリアな画像

II 窒素ガス環境でも静電気除去



NEW

卓上コロナ放電式イオナイザ
STABLO-AP-N2

正確な計量で電池研究に貢献

“窒素ガス環境に特化したイオナイザ”

- 世界初の窒素ガス環境下コロナ放電式
- 信頼性の高い天びん計量が可能
- 安定したイオンバランスも実現

III ミクロン径粒子の材料評価システム



NEW

微小圧縮試験機
MCT-210AD

電池材料開発に貢献

“多粒子連続自動試験を実現”

- 電極活性物質や全固体電池、導電性粒子、電子部品スペーサなどの測定に
- 適合順にリスト化して自動で測定
- 測定後のサンプル残骸の清掃も自動化

V 世界最高感度の標準モデル



NEW

ガスクロマトグラフ
Nexis GC-2060

高感度・直線性・安定性
でワークフローを変革

“材料評価や劣化解析に”

- 5つの注入モードで効率向上、待ち時間も1/8に
- 5つの検出器動作モードが、ラボ環境に適合
- 最高感度の検出器搭載で微量分析を高速分析
- 自動エコ運転で省エネ(電気・ガス削減)を提案

VI 類なき高感度の蛍光X線分析装置



NEW

エネルギー分散型蛍光X線分析装置
ALTRACE

限界を超越した高感度で
新しいステージに

“ブラックマス・正極材料・リサイクル品の分析に”

- 煩雑な前処理から解放
- 溶液化が難しい試料もそのまま分析可能
- 最大48種試料の連続自動分析

展開する主な新製品とソリューション

・インダストリー領域：半導体市場

I ナノ領域の表面観察を強化



NEW

走査電子顕微鏡
SUPERSCAN シリーズ
* チェコTESCAN社との共同ブランド

圧倒的な使いやすさで観察・
分析のワークフローを革新

“低倍率から高倍率までシームレスな観察”

- Wide Field Optics™技術で2倍～百万倍
- 独自技術で光軸・画像を自動調整
- 豊富な分析器追加に対応した大型チャンバー

II 高感度の超純水モニタリング



NEW

オンラインTOC計
TOC-1000e S

尿素も検出する高感度で
歩留まり対策に貢献

“高感度・高応答でモニタリングを”

- 世界最小・最軽量クラス
- 有機物量1µg/L以下まで安定測定
- 洗浄基準に応え、歩留まり改善に

III 拡大する半導体製造装置需要対応



磁気軸受型
ターボ分子ポンプ

*ターボ分子ポンプ = TMP

顧客密着型事業スタイルを強化
第一に選択されるTMPに

“半導体製造装置向けTMP
ダントツNo1”

- 2拠点体制の更なる強化に向け、京都、秦野(神奈川県)を増強。新たな拠点も探索
- サービス拠点のグローバル展開を強化 (欧州、台湾を追加拠点設立)
- TMPのアップグレード提案を推進

IV 半導体市場で複雑化する課題解決に

環境
負荷
低減



- 超純水用オンライン用TOC計と連動して、中国で販売拡大
- 他の地域へ展開を推進

NEW



PFAS分析 液体クロマトグラフ
質量分析システム LCMS-8065XE

- PFAS分析を含めた排水管理などで環境負荷低減

AMC
分析



ガスクロマトグラフ質量分析システム
GCMS-QP2050

- 微細な汚染物質Airborne Molecular Contaminants (AMC) の適切な管理は製造プロセスの歩留まり改善に重要
- エンジニアリング会社との協業を強化し、質量分析システムを展開

“半導体市場の課題解決に向けてへ多面的アプローチを推進”

計測機器/収益性向上策

- 新製品を核としたソリューション展開、リカーリング事業の拡大と製造コストの削減

主な施策/新製品を核としたソリューション展開 →既報

主な施策/リカーリング売上高の拡大

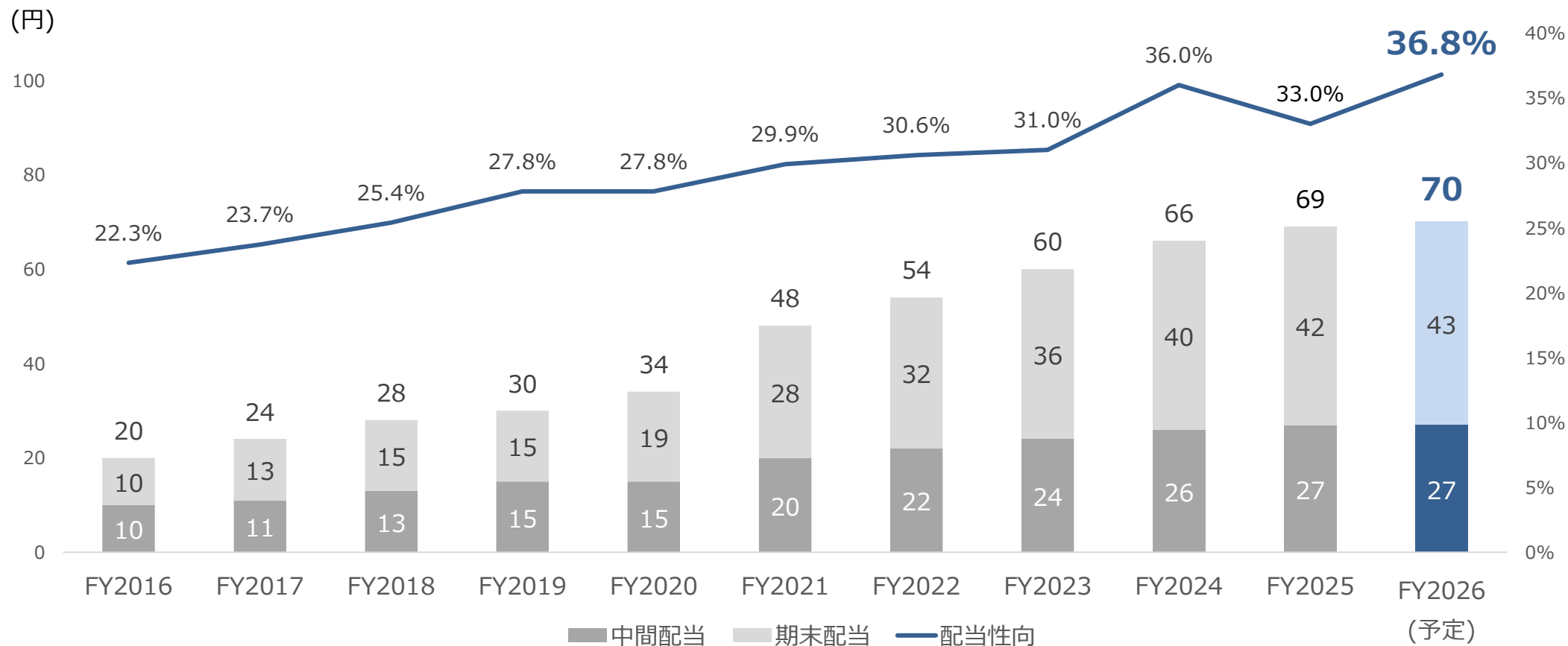
- サービス：
 - ・修理・保守サービスで高付加価値商品を拡充して付加価値訴求を促進
 - ・Zef社との連携によるマルチベンダーサービス（MVS）提案力向上と競合更新需要取り込み
 - ・試験機の海外校正ビジネス拡大
- 試薬・消耗品：
 - ・ASEAN地域でワイエムシ社の消耗品をOEM販売開始するなど、消耗品ラインナップを拡大
 - ・自社製消耗品ラインナップ強化の検討継続

主な施策/収益性改善

- 製造面でのコストダウン：自動化などを活用した製造面でのコストダウンを実施
- 経費のコントロール：事業拡大に必要な成長投資は実施するものの、管理可能経費はコントロール

株主還元

- 配当金 : FY2025 年間配当は期初想定比3円、前年比3円増配の69円
FY2026 13期連続増配となる1株当たり70円（中間27円、期末43円）を予定
- 配当性向 : 36.8%に向上を見込む



※FY2024の期末配当金には創業150周年記念配当4円を含む



本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、経済情勢・為替・テクノロジーなど様々な外部変動要素により、事前見通しと大きく異なる結果となることがあります。

お問い合わせ先：(株)島津製作所

コーポレート・コミュニケーション部 IRグループ

電話：075-823-1673

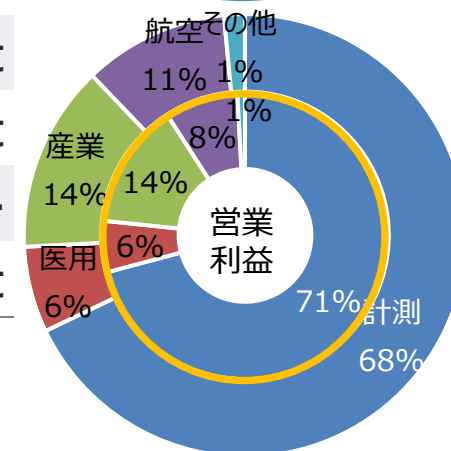
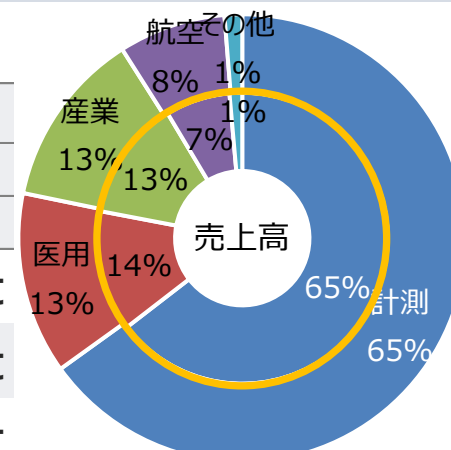
E-Mail：ir@group.shimadzu.co.jp

補足資料

セグメント別損益

- 売上高は、計測、航空が過去最高。医用も増加
- 営業利益は、産業、航空が過去最高。計測、医用も増加
- 売上高構成比は計測65%、医用13%、産業13%、航空8%

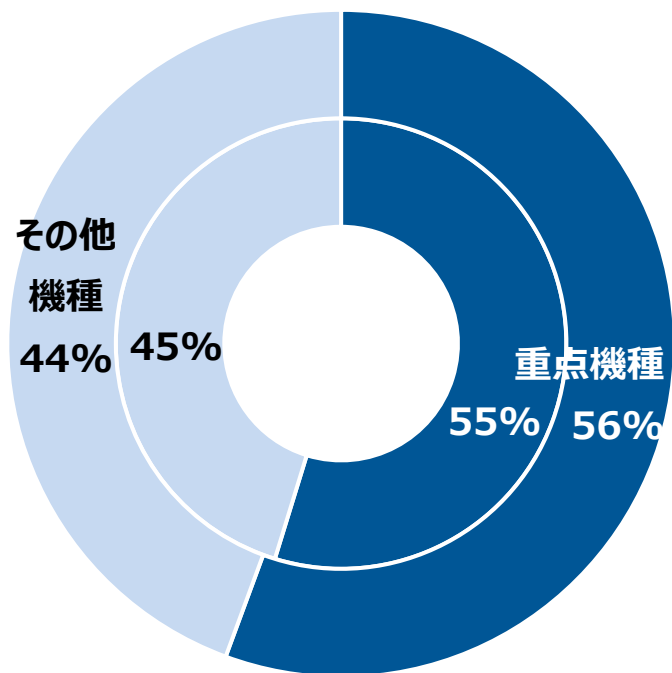
単位:億円	売上高			営業利益			営業利益率	
	FY2025	前期比		FY2025	前期比		FY2025	前期比
		増減額	増減率		増減額	増減率		
計測機器	3,649	+170	+5%	526	+5	+1%	14.4%	▲0.6pt
医用機器	738	+12	+2%	49	+6	+14%	6.6%	+0.7pt
産業機器	715	▲8	▲1%	106	+1	+1%	14.8%	+0.3pt
航空機器	434	+47	+12%	82	+22	+35%	19.0%	+3.3pt
その他	71	▲4	▲6%	12	+6	+87%	12.4%	+6.0pt
調整額	-	-	-	▲37	▲20	-	-	-
合計	5,607	+217	+4%	737	+20	+3%	13.1%	▲0.2pt



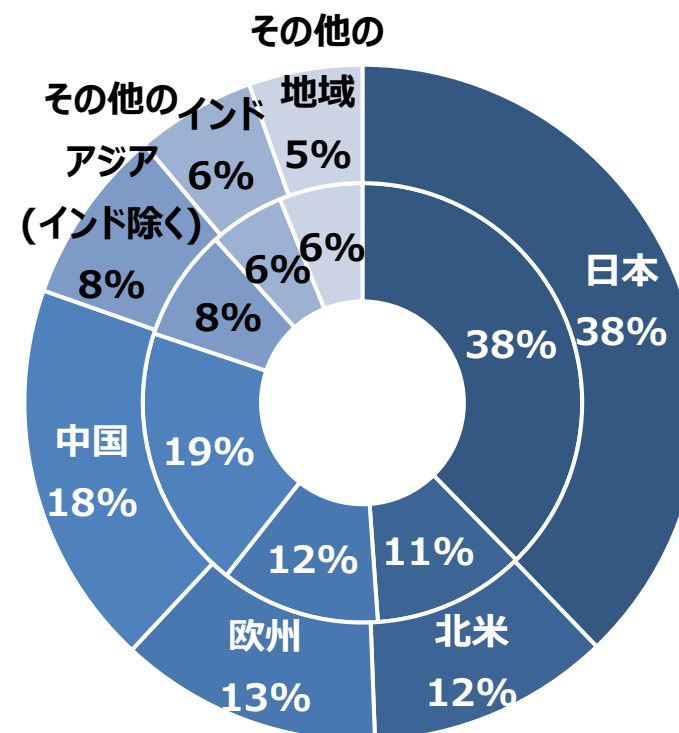
※円グラフ:
外側 FY2025実績
内側 FY2024実績

計測機器 / 各種売上高構成比率 (通期)

機種別



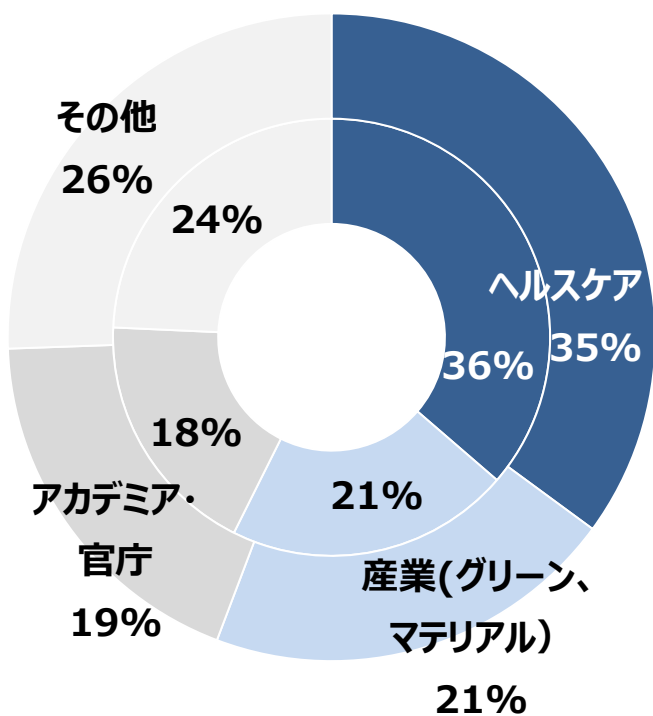
地域別



※円グラフ外側はFY2025実績、内側はFY2024実績を示す

計測機器 / 領域別売上高比率（通期）

市場別売上高構成比

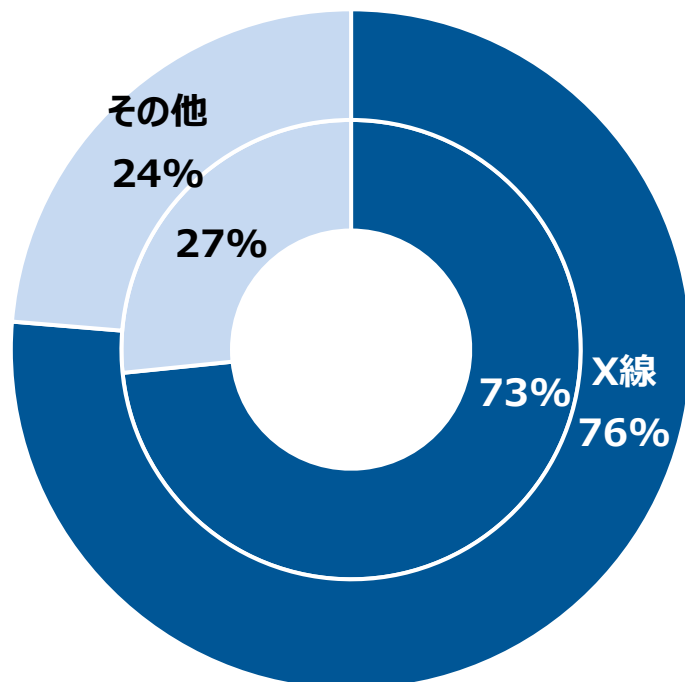


市場と主な業界	構成比		売上高 前期比	概況
	FY2024	FY2025		
ヘルスケア ●医薬品・食品 ●医療機関 ●受託分析業	36%	35%	+1%	・医薬は日本・中国・東南アジア・インドで増加 ・臨床（医療機関）は、北米で増加するも中国・欧州で減少 ・受託分析は中国で減少
産業関連 (グリーン、マテリアル) ●化学・素材 ●電機 ●自動車	21%	21%	+3%	・日本で関税影響により自動車関連が減少 ・欧州でGX関連で増加
大学・官公庁	18%	19%	+7%	・北米は引き続き低調 ・欧州は規制関連需要で、中国も政府の経済対策により増加

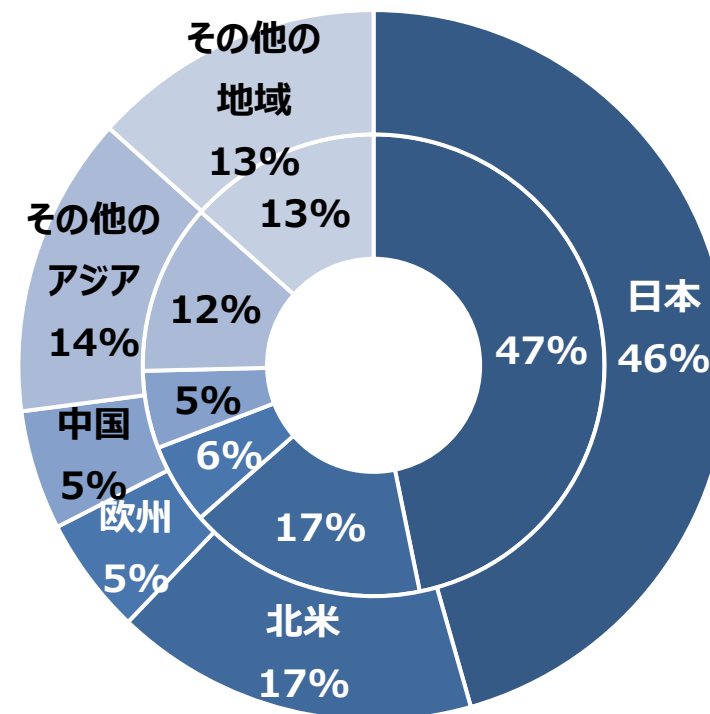
※円グラフ外側はFY2025実績、内側はFY2024実績を示す

医用機器 / 各種売上高構成比率 (通期)

機種別



地域別



※円グラフ外側はFY2025実績、内側はFY2024実績を示す

連結業績 (1-3月)

	単位：億円	第4四半期(1月-3月)		前期比	
		FY2024	FY2025	増減額	増減率
業績	売上高	1,548	1,620	+73	+5%
	営業利益	247	235	▲12	▲5%
	営業利益率	15.9%	14.5%	▲1.5pt	
	経常利益	229	298	+69	+30%
	親会社株主に帰属する当期純利益	176	214	+38	+21%
為替	平均為替レート：米ドル (円)	152.67	156.90	+4.23	+3%
	ユーロ (円)	160.53	183.70	+23.17	+14%
	研究開発費	83	78	▲5	
	設備投資額	58	52	▲6	
	減価償却費	54	52	▲2	

為替影響額

売上高 : **38**億円

営業利益 : **8**億円

セグメント別損益（1-3月）

単位:億円	売上高				営業利益				営業利益率		
	FY2024	FY2025	前期比		FY2024	FY2025	前期比		FY2024	FY2025	前期比
			増減額	増減率			増減額	増減率			増減
計測機器	1,000	1,050	+50	+5%	183	170	▲12	▲7%	18.3%	16.2%	▲2.1pt
医用機器	223	217	▲6	▲3%	26	24	▲2	▲8%	11.7%	11.1%	▲0.6pt
産業機器	189	197	+8	+4%	26	25	▲1	▲4%	13.7%	12.5%	▲1.1pt
航空機器	107	131	+25	+23%	20	23	+3	+12%	18.7%	17.1%	▲1.6pt
その他	29	24	▲5	▲16%	2	4	+2	+113%	5.5%	13.4%	+7.9pt
調整額	-	-	-	-	▲10	▲11	▲1	-	-	-	-
合計	1,548	1,620	+73	+5%	247	235	▲12	▲5%	15.9%	14.5%	▲1.5pt

計測機器 / 重点機種売上高前期比（1-3月）

■ 重点機種

LC：日本・中国・インドで医薬向けが増加

MS：欧州で環境規制需要を取り込み増加。日本では官公庁・大学や医薬向けに増加

GC：日本・欧州・中国で新製品が化学向けに増加

為替影響を含む	FY2023					FY2024					FY2025				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY
重点機種	+18%	+13%	+12%	▲2%	+10%	+3%	▲2%	+2%	+8%	+3%	+3%	+5%	+7%	+10%	+7%
全体	+16%	+10%	+6%	+2%	+7%	+3%	▲1%	+4%	+4%	+3%	+3%	+6%	+5%	+5%	+5%
為替影響を除く	FY2023					FY2024					FY2025				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY
重点機種	+12%	+8%	+7%	▲10%	+4%	▲6%	▲5%	▲0%	+6%	▲1%	+9%	+6%	+5%	+6%	+6%
全体	+11%	+6%	+2%	▲4%	+3%	▲5%	▲3%	+3%	+3%	▲0%	+7%	+7%	+3%	+2%	+5%

※重点機種：液体クロマトグラフ（LC）、質量分析システム（MS）、ガスクロマトグラフ（GC）

計測機器 / 地域別売上高

単位 億円		FY 2024	FY 2025	前期比		概況（通期）
				増減額	増減率	
日本	通期	1,310	1,380	+70	+5%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬・食品向けで液体クロマトグラフや質量分析システムが増加 ・ 化学向けで液体クロマトグラフやガスクロマトグラフが増加
	4Q	444	461	+16	+4%	
海外	通期	2,169	2,269	+100	+5%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外売上高比率は62%(前年比横ばい) ・ 欧州は為替の押し上げ効果もあり12%増と大きく増加
	4Q	556	589	+34	+6%	
北米	通期	390	423	+33	+8%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北米R&Dセンターで顧客と共同開発した質量分析システムが臨床検査市場で増加 ・ マルチベンダーサービス会社（Zef社）の業績も貢献
	4Q	112	120	+8	+8%	
欧州	通期	409	458	+49	+12%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 官公庁・大学向けに液体クロマトグラフや水質検査用途の質量分析システムが増加 ・ 化学市場向けでガスクロマトグラフが増加
	4Q	105	120	+15	+14%	
中国	通期	678	673	▲5	▲1%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製薬向けで液体クロマトグラフや質量分析システムが増加 ・ 大規模設備投資支援によりアカデミア向け増加
	4Q	151	159	+8	+5%	
その他の アジア (インド除く)	通期	286	309	+22	+8%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東南アジアで医薬や官公庁・大学向けに質量分析システムが増加 ・ 韓国で医薬向けに液体クロマトグラフや質量分析システムが増加
	4Q	69	73	+4	+6%	
インド	通期	193	209	+16	+8%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬、食品向けで、液体クロマトグラフや質量分析システムが増加
	4Q	52	64	+13	+25%	

計測機器 / 地域別売上高前期比 (1-3月)

- 日本：医薬・食品向けでLC、MS、GCが増加。研究用途でX線光電子分析装置が増加
- 海外：インドは医薬・食品向けでLC、MSが大きく増加。中国は医薬向けLC、GCを中心に回復

為替影響を含む	FY2023					FY2024					FY2025				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY
日本	+5%	+10%	▲3%	+6%	+5%	+5%	+2%	+12%	▲2%	+3%	+4%	+11%	+3%	+4%	+5%
北米	+1%	+4%	▲4%	+7%	+2%	+13%	+13%	+21%	+11%	+14%	+13%	+4%	+10%	+8%	+8%
欧州	+20%	+27%	+21%	+10%	+19%	+8%	+4%	+3%	+7%	+5%	+2%	+13%	+17%	+14%	+12%
中国	+31%	▲4%	+6%	▲21%	+1%	▲5%	▲19%	▲10%	▲2%	▲9%	▲8%	▲1%	+1%	+5%	▲1%
その他のアジア	+15%	+20%	+20%	+11%	+17%	+4%	+3%	+1%	+13%	+5%	+13%	+5%	+0%	+14%	+8%
インド	+27%	+14%	+32%	+8%	+20%	+20%	+25%	+4%	+24%	+17%	+16%	▲1%	▲5%	+25%	+8%

為替影響を除く	FY2023					FY2024					FY2025				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY
日本	+5%	+10%	▲3%	+6%	+5%	+5%	+2%	+12%	▲2%	+3%	+4%	+11%	+3%	+4%	+5%
北米	▲4%	▲1%	▲8%	▲4%	▲4%	▲0%	+9%	+17%	+7%	+8%	+22%	+5%	+9%	+5%	+9%
欧州	+11%	+13%	+10%	▲3%	+8%	▲4%	▲0%	+0%	+7%	+1%	+4%	+9%	+8%	+1%	+5%
中国	+24%	▲9%	+2%	▲31%	▲5%	▲16%	▲21%	▲12%	▲4%	▲14%	▲1%	+1%	+0%	+2%	+0%
その他のアジア	+10%	+15%	+15%	▲0%	+10%	▲7%	▲0%	▲1%	+12%	+1%	+21%	+7%	+0%	+12%	+9%
インド	+20%	+9%	+26%	▲4%	+12%	+6%	+20%	+0%	+21%	+11%	+25%	+0%	▲6%	+23%	+10%

計測機器 / 領域別売上高前期比

	FY2023					FY2024					FY2025				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY
ヘルスケア	+24%	+7%	▲4%	▲8%	+3%	+1%	▲4%	+5%	+11%	+3%	+2%	+7%	▲3%	▲3%	+1%
産業 (グリーン、マテリアル)	+15%	+8%	+6%	+5%	+8%	+7%	+2%	+2%	+8%	+5%	▲6%	+1%	+0%	+3%	+3%
アカデミア/官庁	+20%	+25%	+23%	▲2%	+14%	▲2%	▲8%	▲8%	▲7%	▲6%	+9%	▲1%	+14%	+7%	+7%

※為替影響を含む

医用機器 / 地域別売上高

単位 億円		FY2024	FY2025	前期比		概況（通期）
				増減額	増減率	
日本	通期	340	336	▲3	▲1%	<ul style="list-style-type: none"> 前年度の放射線治療装置用動体追跡システム大口案件の反動で減少 血管撮影システムなど大型案件の導入計画の見直しがあったことも影響
	4Q	112	106	▲6	▲5%	
海外	通期	386	402	+15	+4%	<ul style="list-style-type: none"> 海外売上高比率は54%(前年比+1pt) その他アジアが大きく増加
	4Q	111	112	+0	+0%	
北米	通期	121	122	+1	+1%	<ul style="list-style-type: none"> 関税影響を受けて厳しい市況の中、X線TVシステムが新製品効果で増加
	4Q	45	33	▲12	▲26%	
欧州	通期	41	39	▲2	▲4%	<ul style="list-style-type: none"> 東欧での医療予算削減の影響で減少
	4Q	6	12	+6	+94%	
中国	通期	39	40	+1	+2%	<ul style="list-style-type: none"> 大規模設備更新プロジェクトによる入札数増加で、X線TVシステムを中心に増加
	4Q	10	11	+1	+9%	
その他の アジア	通期	87	101	+14	+17%	<ul style="list-style-type: none"> 東南アジア、インドで、X線機種が増加
	4Q	24	27	+3	+12%	

医用機器 / 地域別売上高前期比 (1-3月)

- 日本：大型案件の導入計画見直しの影響を受け血管撮影システムが減少
- 海外：欧州は昨年的大幅減の反動増。北米は昨年4Qの好調からの反動減で大きく減少

為替影響を含む	FY2023					FY2024					FY2025				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY
日本	▲24%	▲20%	+7%	▲17%	▲15%	▲1%	▲3%	▲5%	+3%	▲1%	+1%	▲4%	+9%	▲5%	▲1%
北米	▲18%	+11%	▲2%	+0%	▲1%	+37%	▲8%	▲6%	+40%	+14%	▲2%	+14%	+39%	▲26%	+1%
欧州	+16%	▲7%	+41%	+0%	+12%	+11%	▲30%	+3%	▲44%	▲14%	▲63%	+51%	▲30%	+94%	▲4%
中国	+24%	+38%	+7%	▲5%	+15%	▲36%	▲29%	▲36%	▲22%	▲31%	▲3%	▲20%	+28%	+9%	+2%
その他のアジア	+20%	▲28%	+10%	+27%	+3%	+15%	+47%	+1%	+16%	+19%	▲20%	+28%	+40%	+12%	+17%

為替影響を除く	FY2023					FY2024					FY2025				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY
日本	▲24%	▲20%	+7%	▲17%	▲15%	▲1%	▲3%	▲5%	+3%	▲1%	+1%	▲4%	+9%	▲5%	▲1%
北米	▲23%	+6%	▲6%	▲10%	▲7%	+21%	▲12%	▲8%	+35%	+8%	+5%	+16%	+37%	▲28%	+2%
欧州	+7%	▲18%	+28%	▲11%	+1%	▲1%	▲32%	▲1%	▲42%	▲17%	▲62%	+47%	▲35%	+72%	▲10%
中国	+17%	+32%	+3%	▲17%	+8%	▲43%	▲32%	▲37%	▲24%	▲34%	+5%	▲18%	+27%	+7%	+3%
その他のアジア	+14%	▲31%	+6%	+16%	▲2%	+5%	+41%	▲0%	+13%	+14%	▲14%	+32%	+40%	+10%	+18%

産業機器 / 機種別売上高前期比（1-3月）

- **TMP** : 半導体製造装置向けが日本で増加も、中国では前年好調の反動で減少
- **油圧** : 産業車両向けが減少
- **その他機種** : EV用セラミックス部品製造向け工業炉が減少

為替影響 を含む	FY2023					FY2024					FY2025				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY
TMP	▲3%	+0%	▲0%	+15%	+3%	+27%	+7%	+10%	+12%	+14%	+3%	▲2%	+16%	+1%	+4%
油圧	+10%	+8%	▲4%	+1%	+3%	▲4%	▲4%	▲2%	▲1%	▲3%	▲3%	+6%	+7%	+0%	+2%
その他	▲2%	+2%	+10%	+11%	+6%	+29%	+42%	+7%	▲16%	+12%	▲19%	▲39%	▲4%	+14%	▲13%

為替影響 を除く	FY2023					FY2024					FY2025				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY
TMP	▲7%	▲4%	▲4%	+6%	▲2%	+17%	+5%	+9%	+11%	+10%	+8%	▲3%	+14%	▲2%	+4%
油圧	+9%	+7%	▲6%	▲2%	+2%	▲7%	▲5%	▲3%	▲1%	▲4%	▲1%	+6%	+6%	▲2%	+2%
その他	▲4%	+1%	+8%	+6%	+3%	+22%	+40%	+5%	▲16%	+10%	▲16%	▲38%	▲4%	+13%	▲13%

※FY2024Q1より、従来「航空機器」に含まれていた海洋関連機器の業績を、「産業機器」へ移管。
FY2024およびFY2023の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた上で、FY2024/FY2023の前期比較においては、前年の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較。

リカーリング比率（1-3月）

- 計測 : 北米・中国・インドで医薬向けに消耗品が、欧州で臨床向けメンテナンス・サービスが増加
- 医用 : 東南アジア・インドでメンテナンス・サービスが増加
- TMP : 日本・中国・台湾・韓国で顧客カバー率向上により増加

計測	FY2023					FY2024					FY2025				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY
リカーリング売上高 前期比	+10%	+3%	▲4%	▲2%	+1%	+0%	+4%	+10%	+7%	+6%	+10%	+6%	+5%	+7%	+7%
リカーリング比率	39%	35%	37%	34%	36%	41%	38%	40%	35%	38%	42%	38%	41%	37%	39%

医用	FY2023					FY2024					FY2025				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY
リカーリング売上高 前期比	▲3%	▲7%	+1%	+0%	▲2%	▲1%	+0%	▲0%	+4%	+1%	+6%	+5%	+5%	▲1%	+3%
リカーリング比率	42%	34%	37%	33%	36%	41%	36%	40%	34%	37%	47%	35%	37%	35%	38%

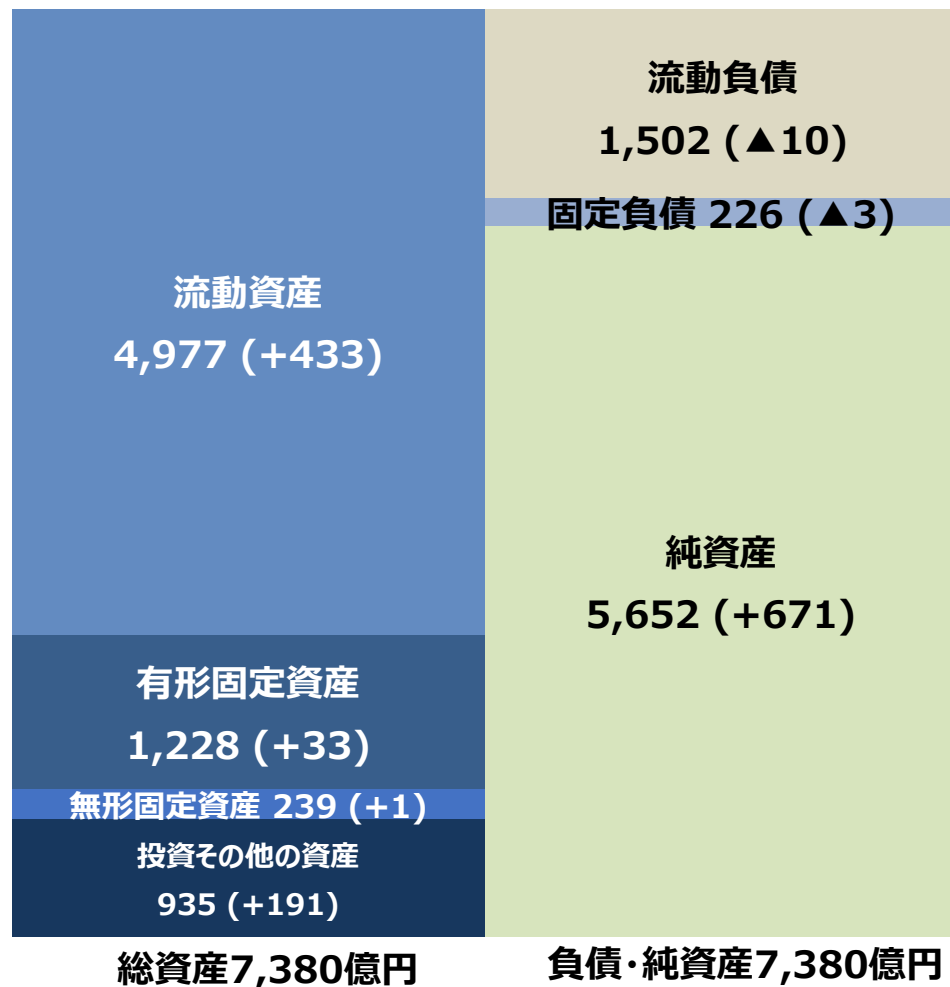
TMP	FY2023					FY2024					FY2025				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY
リカーリング売上高 前期比	▲9%	▲8%	+10%	+36%	+6%	+46%	+50%	+34%	+28%	+38%	+24%	+23%	+29%	+32%	+27%
リカーリング比率	15%	14%	18%	17%	16%	19%	19%	22%	19%	20%	21%	25%	25%	26%	24%

※為替影響を除く

連結財政状態 (連結貸借対照表)

- 2026年3月末総資産 7,380億円 (2025年3月末から+658億円)
- 現預金の増加に加えて、需要増に伴う棚卸資産の増加もあり、流動資産が増加

(億円)
増減は2025年
3月末対比



資産

流動資産 **+433億円**

- 現金 +239億円
- 棚卸資産 +87億円

投資その他の資産 **+191億円**

- 退職給付に係る資産 +132億円
- 投資有価証券 +52億円

負債・純資産

流動負債 **▲10億円**

純資産 **+671億円**

- 利益剰余金 +409億円
- 為替換算調整勘定 +153億円

自己資本比率 **76.6% (+2.5pt)**